

## エンパワーメント理論から見たプライマリヘルスケアと ヘルスプロモーションの戦略分析に関する考察

ユアサ ムトユキ ナカハラ トシタカ  
湯浅 資之\* 中原 俊隆<sup>2\*</sup>

プライマリヘルスケア（PHC）とヘルスプロモーション（HP）を文献考証すると、その中心概念の一つに“エンパワーメント”があることがわかる。パワーには多面性があり、パワーされる主体が誰であるかによって“エンパワーメント”の定義は多様に存在し得る。それゆえ、“エンパワーメント”を内包するPHCとHPも多様な戦略的特性の解釈が成り立つ。たとえば、“エンパワーメント”に対する軽重認識の違いから包括的PHCと選択的PHCの齟齬が生じ、パワーの多面性からHP活動の幅広いスペクトルが可能なのである。とりわけブラジルにおけるHP活動の政治的側面の主張は、貧富格差の著しい社会矛盾の上に、Paulo Freireに始まる“政治的エンパワーメント”を強調する健康教育思想の基盤を背景としたHP戦略の特性であると思われる。

**Key words** : プライマリヘルスケア, ヘルスプロモーション, エンパワーメント

---

\* 国立国際医療センター国際医療協力局派遣協力課

<sup>2\*</sup> 京都大学大学院医学研究科健康政策・国際保健学  
教室

連絡先：〒162-8655 東京都新宿区戸山 1-21-1  
国立国際医療センター国際医療協力局派遣協力課  
湯浅資之